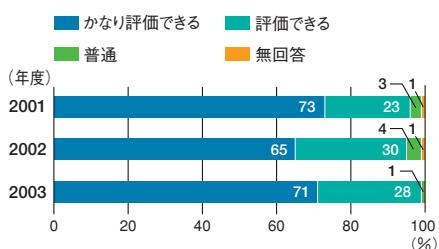


2003年版のアンケート結果

2004年4月末現在、日本語版21,045部の発行実績に対して122件の回答をいただき、主な内容は以下の通りでした。

■ アンケート結果

① リコーグループの活動内容についてどう評価されましたか？



② この報告書で特に興味を持たれたページがございますか？

- 1位 環境社会貢献
- 2位 環境会計
- 3位 Three P's Balance
- 4位 環境技術・製品開発
- 4位 サスティナビリティチャート
- 6位 生産(省資源・リサイクル)
- 6位 2002年度のトピックス

③ この報告書をどのような立場でお読みになりますか？



■ 2003年版に対するご意見の一部と 2004年版での対応

○毎年度貴社の報告書は楽しみにしています。社長のトップメッセージを含めこの報告書にちりばめられた一言一句は、まさに「生きた字句」で感銘を受けている。環境教本として常に手元に置きたい。

○毎年かなりのボリュームで圧倒されます。こんなに字数があれば「索引」があればもっと見やすくなるのでは。

▶右ページに「ワード別インデックス」を新たに設けました。ぜひご利用ください。

○環境技術・製品開発の項目が充実して非常によい。

○前半に主張をまとめられ、後半に情報を提供され、読み易い。2002より大分改善されていると思う。

▶前半で環境経営の考え方と基盤となる仕組みを説明し、後半に製品/事業所別のデータや事例を配置しました。また、FOCUSページを設けて、世の中の関心の高いテーマやリコーグループの独自性のある事例を詳しく説明しています。

(p.21,51,59)

○計画に対する実績表示があるほうが良い。その後の計画も。

▶製品・事業所の各項目ページの先頭で、基本的な考え方、2004年度までの目標、2003年度のレビュー、今後の取り組みを説明するようにしました。

(p.39,43,48,53,57,61~62)

○中長期的な環境への取組みに対するビジョンやロードマップと具体的にプログラム等があったらみてみたい。

○地球の再生能力を念頭におき許容量を逆算しその範囲内に排出量を押さえるべき。

▶2010年長期環境目標について説明しました。目指すべき姿をまず描き、そこからさかのぼる形で目標を設定していきます。(p.13)

○輸送のページに興味がある。メーカーにも物流の環境負荷についてもっと考えて欲しいと日々思っているから。

▶循環型ロジスティクスのページにモーダルシフトの事例を掲載しています。(p.56)

○土壤・地下水汚染のページに興味を持った。重要な調査結果である。

○ある意味ではマイナス情報ですが、きちんと報告されている企業姿勢に好感と信頼が持てます。

○どの企業もタブー視して情報公開を避けていますが、勇気ある発表に敬意。

▶2003年版の国内に加えて、開示範囲を海外に拡大しました。本報告書には海外の調査結果全てと国内の汚染履歴のある事業所を掲載しています。なお汚染履歴のない国内事業所を含めた全情報はホームページに掲載しています。(p.63~64)

<http://www.ricoh.co.jp/ecology/data/survey.html>